豊郷町隣保館だより

２０２４年１月２６日発行　豊郷町隣保館　☎0749－35－0611　№.238

彦根総合高校書道部のみなさんです。子どもたちに書道の楽しさを伝えていただきました！

「新年の気持ちを書にしたためて！」～彦根総合高校書道部のみなさんと交流～

２０２４年が始まり、まもなく１か月が過ぎようとしています。そして、それは同時に、１月１日に石川県能登地方を震源とする大規模な地震が発生してから１か月になるということです。

甚大な被害により、多くの尊い命が奪われてしまいました。重ねて被災地では、今もなお多くの人たちが不自由な生活を強いられ、刻々と変わる状況に不安な日々を過ごされていることに胸を締めつけられる思いです。また、遠く離れている場所から被災地の救済と支援のため、今ここからできることを模索されている人も多くおられることと思います。

すべての人が支援を届けることはできないかも知れません。仮に、自分には何もできないとしても被災地に想いを馳せながら、日常を大切に生きることも意味のあることではないでしょうか。

１月１５日には、阪神淡路大震災から２９年、そして、３月１１日には、東日本大震災から１３年を迎えます。どれだけの日々が過ぎ去っても、『あの日、あのときを忘れない』という気持ちは、これからも持ち続けていきたいと思っています。

さて、隣保館では、今年初めての取組みとして、１月５日（金）午後１時半から「新春書き初め教室」を行いました。およそ４０名の子どもたちが彦根総合高等学校書道部のみなさんと書道を通じて交流をもち、アドバイスを受けながら思い思いの文字を書きあげ、嬉しそうな笑顔を見せてくれました。

今年も多くのみなさんの笑顔が集う隣保館になるよう、職員一同、気持ちを新たに取組んでいきますので、どうぞよろしく願いいたします。